

小規模多機能型居宅介護 サービス評価
令和6年度 小規模多機能ホームいしい和泉

◆外部評価

自己評価 (事-①～⑨)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表 令和7年3月14日実施

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	人	人	10人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・利用初期は希望や思いを意識して聞き取る。利用時の様子報告やご自宅での様子聞き取りを家族様と細やかにを行い、支援に繋げる。・事業所内アセスメントシートの見直しを定期的に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・利用初期は意識して聞き取りを行い、情報収集に努めた・会話の中から今までの生活スタイルや困りごと、楽しみなどを探り、支援に繋がるよう努めた・登録利用者の新たなアセスメントシートへの記入が十分でない、更新時期が定められていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	1		10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	7			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7		1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・声かけは良くできている、気遣いができるよう心掛けた・情報の読み込み、共有もできた・ミーティング時や基本情報を元に初期支援に努め、職員間で情報共有はできている・不安の解消の為に積極的に関わり、馴染みの関係づくりに努めた・必要としている支援の聞き取り、提案に努めた・他職員からも得た情報を積極的に聞き取りしている・利用前から自宅訪問をしたり、体験利用時に積極的に関わり、コミュニケーションを図った	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・家族と会う機会がなく、直接聞き取りや相談を受けることがない・ニーズを叶えることができていないと感じることがある・初めて介護サービスを利用される方は手探りとなり、十分ではない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・アセスメントシートの振り返りを半年ごとに行う。・状態や状況の変化時があった際は、朝夕の申し送り時や ICT の申し送りにて情報共有を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	人	人	10人

前回の改善計画
・日々の関わりの中で利用者のおもいや希望を聞き取り、願いや「～したい」が実行に結び付けられるようにしていく。得た情報は記録に残し、職員会議で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・おもいを傾聴し、寄り添い、「行きたい」「したい」「見たい」の希望に添えるよう情報共有し、実現に繋げるよう努めている ・全ての希望を叶えることは難しく、今後の課題である

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	8			10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8			10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8			10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		8	2		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・会話や関わりの中で聞き取りや発見を丁寧に行うよう心掛けた ・できていることが継続できるよう努めた ・一人一人のしたい事やおもいを聞き取りし、職員間で共有した

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・聞き取ったことを実現に繋げられなかった、繋がれていない ・評価できるに至っていない (取り組み中) ・意思疎通が困難な方へのアプローチができていない ・実現した内容をミーティングで話し合いや振り返りができていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・個々の利用者にあったコミュニケーションを心がけ、変化に気づいた際は情報共有を行い、利用者の本心や声にならない声を少しでもくみ取ることができるように取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

3. 日常生活の支援

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	7人	人	人	10人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">利用者個々にあったコミュニケーションを心がけ、変化に気づいた際は情報共有し、利用者の本心や声にならない声を少しでもくみ取ることができるようにしていく。朝夕の申し送り、職員会にて支援内容を確認し、統一したケアの提供に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">会話時に聞きとったおもいや願いは職員間で共有に努めている変化があった事はすぐに報告、相談し、記録にも残している話し合った内容は議事録や申し送りにて職員間で情報共有し、ケアの統一を図った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	3	6		10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	6			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	2		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8	2			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	6			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">一人一人の気持ちに寄り添い、傾聴に努めた送迎時等に家族様から積極的に様子をお聞きした認知症状や病気、体調を考慮し、言語化できるよう話し合った情報共有し、記録にも残るよう努めた

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">利用前の暮らしや自宅での様子が十分には把握できていない積極的に関わることが苦手な職員もいる解決策が見出せていないこともある認知症状にて行動や気持ちをくみ取ること、表情から推測するも正しいのかわからない声にならない声を言語化するのは難しい

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">マニュアルの見直し、手順書を作成し、統一したケアが支援できるように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	7人	人	人	10人

前回の改善計画

- ・利用時の様子がわかりやすいよう連絡ノートに記入する。
- ・家族からのコメントは記録に残し、気になる事があった際は送迎時や電話にて確認する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・連絡ノートには支援内容だけでなく、本人様の言葉や反応、表情など様子が伝わるよう記載した
- ・聞き取ったことや記載されていたことは、日報や生活記録に記録し、職員間で情報共有した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		9	1		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	6	3		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		7	3		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1		8	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・家族から自宅での様子等を連絡ノートに記載くださり、把握することができている
- ・送迎時や訪問時に自宅内の様子や変化に気を付けて観察している
- ・アセスメントなどからこれまでの生活スタイルを理解できている
- ・地域の方や近隣の方へ積極的に挨拶している
- ・日々の関わりの中で本人の行動やおもいを情報収集している

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・家族との関わりが少ない為、自宅での困りごとや地域との関わりに関与できていない
- ・事業所以外での過ごし方が把握できていない
- ・家族のおもいへの寄り添いが十分でない
- ・民生委員の方との関わりが希薄
- ・本人が覚えていなかったり、家族への聞き取りが不足しており、理解ができていないこともある

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・引き続き、連絡ノートには事業所内の様子がわかるような記入を心掛ける。
- ・直接お会いする機会が少ない家族様へは連絡ノートを活用し、様子の聞き取りをする。状況に応じて、電話やメールも活用し、情報共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	3人	1人	10人

前回の改善計画

- ・地域資源について勉強会を行う。
- ・利用者を支える資源の把握を引き続き行う。事業所とも繋がりが持て、連携ができるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域資源についての勉強会はまだ行っていない、今年度中に実施したい
- ・馴染みの店の聞き取りを行ったが、事業所と協同で支える関係作りは行っていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	3		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	4			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	5			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8			10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者のニーズに応じて柔軟に使い分け、職員全員で取り組めた
- ・日々の気づきや変化時はミーティング等で共有し、支援に繋がる話し合いができています
- ・古紙やボトルキャップ回収の協力、提供活用ができています

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・様子の記録が不十分で、記録を見ても様子がわからない場合がある
- ・地域資源の活用方法が理解できていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・送迎時の様子や会話の中から見聞きした地域や近隣との繋がりと情報は細やかに記録に残していく。
- ・変化があった際は多職種にてカンファレンスを行い、サービス内容や支援の見直しをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

6. 連携・協働

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	1人	人	10人

前回の改善計画	
	・事業所での行事やイベントを開催する。 ・行事やイベント開催時は案内を工夫し、情報発信する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・夏祭りや交流会を開催し、地域の方にも来ていただいた ・チラシ配りや掲示板を活用し開催案内を掲げたことで、来訪に繋げることができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	2	6	1	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1		6	3	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	3	3	3	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		5	4	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・まつイチ体操が再開し、地域の方との交流が図れ、参加時に困りごとの相談を伺うこともできた ・夏祭りを開催し、地域の方や近隣住民の方が訪れてくださった ・施設内を見学いただき、知っていただける機会となった ・季節毎に行事やイベントを企画し、掲示板やチラシを活用して情報発信を行った ・ボランティアの訪問にて交流を図れた ・地域行事やイベント、町内清掃などに参加し、交流を図っている ・近隣の方が自身の作品や利用者がチャレンジできるアイテムを作成して、持参してくれた

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・相談について、支援には繋がらなかった ・来訪者が少ない ・気軽に利用者と交流したり、一緒に楽しむ機会を設けていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・まつイチ体操や町内行事には職員が交替で参加し、地域の方々との交流を続ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

7. 運営

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	人	1人	10人

前回の改善計画
・町内行事やイベントには職員が交代で参加し、事業所を知っていただける機会を増やす。 ・利用者や家族からの要望については、誠実に向きあい、サービスの質の向上につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・町内行事や活動には職員が交替で参加した ・利用者、家族からの要望には丁寧に対応することを心掛けた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		6	3	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7		1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	5	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		7	2	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・意見や苦情に関しては真摯に向き合い対応している、職員間で共有し全員で取り組みしている ・運営推進会議やまつイチ体操を通じて地域や地域の方からの意見を聞いている ・利用者様のおもいを傾聴し、実現に繋げられるよう前向きに検討している ・地域行事やイベントには職員が交替で参加し、事業所を知っていただけるよう取り組んだ ・ゴミステーションの掃除など、地域住民の役割を担うよう努めている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域の方から意見を聞く機会がほとんどない ・行事の内容によっては時間や人員が限られる ・職員として意見を発言しにくい ・事業所の認知度は低いとおもわれる ・地域から事業所が求められていることが把握できていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・利用者や家族からの要望については誠実に向き合い、サービスの質の向上につなげていく。 ・運営推進会議での情報は職員全体で共有し、地域での困りごとにも目を向けることができるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	人	人	10人

前回の改善計画
・研修会や勉強会の時間や内容を見直し、参加しやすいよう改善する。 ・ヒヤリハットの振り返りを毎月行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
・開催時間を調整し、参加しやすい体制を整えた ・ヒヤリハットの振り返りは行っているが、内容分析が不十分である

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	4	4		10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	5	3	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修会や勉強会には積極的に参加している ・研修会参加後は振り返りを行い、わからないことは調べて情報収集に努めている ・ヒヤリハットや事故報告書には必ず目を通し、対策の徹底、継続に努めている ・リスクマネジメントは定期的に取り組んでいる ・資格取得やスキルアップのための研修に参加している ・参加できない会議や研修等には資料を読み込み、内容把握に努めた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修や勉強会の開催時間を参加しやすい時間に検討中 ・参加する職員が限られている ・研修内容の更新がされていない ・研修した内容を実践で十分に活かしてきれていない	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・ヒヤリハットや事故報告の対策、分析は夕方の申し送り時に出勤職員全員で行う。 ・リスクマネジメントの取りまとめを半年に一回行い、振り返りをする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤8名 非常勤2名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	7人	人	人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・プライバシーや個人情報、不適切ケアについての振り返りや勉強会を行う。・職員同士、注意しあえる環境・関係作りをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・研修に参加し、身体拘束や虐待、不適切なケアについて話し合い、取り組めた・研修時に振り返りを行う事で、気づきが増え、反省する機会が持てた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10				10
②	虐待は行われていない	10				10
③	プライバシーが守られている	3	7			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1		1	8	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束や高齢者虐待研修を重ね、学び・振り返りを行っている・気になる事は研修会等で伝え、改善に努めた・個人情報の管理に努めている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・不適切なケア、グレイゾーンにあたることが見受けられたが見過ごす場面や注意しにくい場面があった・不適切なケアに対しての理解が薄いと感ずることがある・職員間での伝達の仕方、状況に配慮が足りなかった・馴れ馴れしい言葉遣いがあった・成年後見制度の対象者がいない、制度について理解できていない・支援に必要な為にプライバシーに配慮が足りない場面もあった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・利用者のプライバシーが守れるよう努めると共に、自分達の行動や言動を振り返る機会を設ける。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ヨシケンコーポレーション	代表者	代表取締役 河本 英樹	法人・ 事業所 の特徴	会社理念「素直な心」「初心を忘れない」「思いやりの心」 事業所理念「なじみの暮らしをいつまでも……。思いに寄り添い、心を大切にします。」 ご利用者様の思いや願いを尊重し、生まれ育った町で、長年住み慣れたなじみの地域で、ご本人らしい生活が送れるように支えます。
事業所名	小規模多機能ホーム いしい和泉	管理者	山本 千里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	2人	0人	1人	3人	2人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	職員会議にて定期的に経過の確認・振り返りを行いながら取組んでいく。 引き続き、運営推進会議にて進捗状況を報告する。 研修会や内部勉強会を開催し、職員個々のスキルアップを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議等にて定期的に進捗状況の確認、取り組みの声かけを行った。 職員各々で資格取得やスキルアップを目指し取り組んでいる。 研修会や勉強会も参加できるよう取り組んだ。参加できない職員には資料の配布を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務がある中で研修会や勉強会に参加することは容易ではないとおもうが、これからも時間調整や資料配布など、工夫しながら個々のスキルアップを目指して取り組んでいきたい。 改善内容を明らかにし、具体的にに向けた取り組みがなされている。 運営推進会議で利用者の様子や取り組みを丁寧に発信できている。進捗状況の報告もできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が学びたい研修の聞き取り、計画を立てて全員が受講できるように取り組む。 業務内容の見直しを行い、「ムリ・ムダ・ムラ」の改善を図る。 進捗状況の確認、話し合いを定期的に行う。
B. 事業所の しつらえ・環境	事業所出入口、事業所周辺の環境整備と美化を心掛け、親しみやすい事業所作りを行う。 利用者が意欲的に取り組める活動を増やす。居心地の良い空間作りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 施設出入口口花壇や玄関先には季節の花を植え、明るい雰囲気になるよう努めた。玄関周りは掃除を行い、環境整備を行った。 園芸療法にて畑で作物を育てたり、季節の花を植えた。リビングから見える位置にプランターを置いて、成長を見て楽しんでいただけよう工夫した。 壁面には毎月季節の飾り付けを行った。利用者からの意見を取り入れ、楽しみながら活動できるよう取り組んだ。 事業所内は清潔に保たれるよう掃除や整理整頓に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> いつも花壇や掲示板をきれいにされていて、季節を感じられ温かみある印象を受ける。外部からの印象だけでなく、リビングから見えるようにプランターを配置したり、出入口にも掲示板を設置するなど、利用者にとっても過ごしやすいうち考えられている。 居るだけで季節を感じ、ほっとできる空間作りを続けていきたい。 利用者と共に事業所内外の環境整備がされている事はとても良い。 利用者の方を計画的に動かすことは体全体にも良いことである。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の整理整頓、衛生管理、駐車場及び周辺の清掃や花壇等の環境整備を行う。 事業所内外問わず、季節の花や掲示物で飾り、季節を感じられる取り組みを行う。

			<ul style="list-style-type: none"> ・清掃、美化、作物等すばらしい。 ・利用者と一緒に作り、育て、楽しむ取り組みは素敵である。 ・事業所内だけでなく、事業所周辺の草引きやゴミ拾いをしている姿を良く見かる。施設内もきれいにされていて、とても気持ちが良い。 	
C. 事業所と地域のかかわり	<p>地域行事への参加、外出機会を増やしていく。 地域交流スペースを活用したイベントを開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りや地域の運動会・文化祭へ参加、ドライブや外出の機会を増やした。 ・まつイチ体操再開、夏祭りには地域の方にも参加いただいた。 ・パンの移動販売を再開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月様々なイベントの開催や参加、外出をされており、利用者の方々が楽しんでおられる様子が伺える。 ・コロナ過で中止となっていた活動が再開でき始め、写真の利用者の表情からも楽しい様子が伝わる。イベントの参加で普段は見られない利用者の一面を今後も発見していただきたい。また、個別の外出もそれぞれの意向を見つけ出すことは難しいことも多いかもしれないが、引き続き取り組んでいただきたい。 ・非常時の取り組みを多く取り入れており、大変良いとおもう。 ・本人から行った状況など聞いている。(利用者家族) ・地域のイベント参加や定期的な移動販売等、利用者が楽しめる場面を作り、事業所だけで支えるのではない取り組みができています。 ・事業所主催のイベントに地域の方が参加いただいたり、事業所が地域の交流の場になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事やまつイチ体操には利用者と職員で参加し、地域の方との交流を図る。 ・個々の希望や願いを聞き取り、実行できるよう取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>チラシ配りは継続、趣向を凝らした内容作りに取り組む。 利用者宅ご近所さんとの関係作りに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月チラシ配りを行い、事業所周知に努めた。チラシの内容見直しも行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に近所の方が事業所を見ていることは少なくない、挨拶することは近隣との関係作りの第一歩として良いとおもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事参加時や送迎時には笑顔や好感ある振る舞いを心掛け、地域の方や近隣の方に事業所名や事業所の職員であることを認識いただけるよう努める。

		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や訪問時には近隣の方へ積極的に挨拶をし、関係作りに取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事参加時にも『いしい和泉から来ている』ということが分かるようにすると周知に繋がるとおもう。 ・今後も続けていただきたい。 ・プライバシー保護、情報漏洩が厳しい中、工夫しながら関係作りや協力者を作り、取り組んでいる。 ・事業所の事を知ってもらえる取り組みができています。少しずつ地域の方との交流にも繋がられている。 ・町内盆踊りや文化祭等の行事にも参加して良い。 	
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>引き続き、職員が交代で参加し、取り組み発表を行う。 地域の方や他事業所の方と意見交換や情報共有が行えるよう積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には職員が交替で参加し、発言する機会を設けた。 ・他事業所の運営推進会議への参加し意見交換を行った。得た情報は朝夕の申し送り等で共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では事業所の取り組みについて目的が何なのか明確に説明されており、また写真や資料を用いてわかりやすくお知らせされている為、事業所の魅力がよく伝わってきた。 ・運営推進会議に利用者が参加され、直接お話しが聞けることは良いことである。 ・地域の方の事例検討も今後積極的に取り組んでいただきたい。 ・運営推進会議には利用者・家族・地域・他事業所と他機関から参加されており、いろいろな見方から意見や情報が得られる場となっていると感じた。 ・職員の交替での参加は難しいのではないかと。 ・参加者である民生委員や利用者、利用者家族から意見をいただきながら行えている。 ・職員の方からの積極的な発言や参加者への質問やアドバイスを求める場面がもう少し据えると良い。 ・運営推進会議での取り組み説明はとても分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には引き続き職員が交替で参加する。 ・事業所の活動内容や取り組みを管理者以外の職員が発表するよう試みる。 ・運営推進会議を通じて、地域の方や他事業所の方との意見交換や情報交換に努める。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>職員一人一人が事業所の BCP（事業継続計画）の把握に努め、平常時に行うべき活動や緊急時等、有事の際に生かされる訓練に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練は開催した。訓練後は一人一人が実際に起こった時のことを想定したり、不安におもったことを話し合うことで今後不測の事態に活かしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内でも実際に災害が発生し、防災意識は高まっているとおもう。物はあるけど使い方が分からなかったり、事業所としての動きなど、他事業所と情報交換しながら取り組んでいることが運営推進会議中のやり取りから伺えた。地域での防災訓練も再開しているので積極的に参加していただきたい。 ・防災設備を設置することは必要だが、定期的に訓練を行う事で使用方法を確認し、誰でも使えることが重要である。 ・色々な想定訓練を続けていただきたい。 ・事業所で行う訓練だけでなく、地域の訓練にも参加され、地域との協力体制を作ろうとしている。 ・非常時の対応等は何度も繰り返すことが大事、そうすることによって本当に発生した時にも落ち着いた対応ができ、被害を最小限に食い止めることができる。訓練や話し合いがしっかり行えているとおもう。職員の誰もが主となり、対応できるよう様々な想定をし、職員全員が考え行動できるようにしていただきたい。 ・防災、災害に関して引き続き訓練を行い、活かしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練へ参加し、情報共有や連携が図れるよう努める。 ・マニュアル、消化設備や避難経路の確認を定期的に行う。消火器を全員が使用できるよう、実践的な訓練を行う。
----------------------------	---	--	---	--